

名所・旧跡

大陸と日本本土の間、玄界灘に浮かぶ志岐の島は、東西15キロ、南北17キロのまるい平坦な島。ここには神々がすむ森と黒潮がはこんでくる豊かな海、そしてひとびとが惹きつけられる豊かな大地がある。

SPOT 03 **岳ノ辻**
標高212.8m。志岐島で一番高い山。約20万年前、玄武岩溶岩流の上に噴出した火砕屑物によって形成された火山砕屑丘(かざんさいせつきゅう)。

SPOT 06 **鬼の足跡**
志岐を代表する景観で、地元では、大鬼のデイが鯨をすくい捕るために踏ん張ってきた足跡で「鬼の足跡」と呼ばれている。

06



SPOT 04 **ツインズビーチ**
塩樽(しおたる)海水浴場と小水浜(こみずはま)海水浴場を合わせてツインズビーチと呼ぶ。小さな入江にある美しい砂浜の海水浴場。

SPOT 07 **辰ノ島**
弓状の浜辺は遠浅の白い砂浜で美しく、観光客には人気が高い。海浜植物群落や蛇ヶ谷など見所も多い。

07



SPOT 05 **清石浜(くよしはま)海水浴場**
芦辺港の南東に広がる約500mの美しい砂浜が清石浜である。シーズンオフにはサーフィンやバードウォッチング、ビーチコーミングなども楽しめる。

SPOT 08 **志岐風土記の丘**
歴史散策公園。敷地内には江戸時代中期の様式の古民家を建築復元。管理棟には市内にある遺跡からの出土品を展示している。

08



02

志岐安国寺

SPOT 02

1338年(暦応元)、足利尊氏と直義は、平和祈願と元寇以来の戦死者の菩提を弔つため、全国66ヶ国と2島に安国寺建立を命じた。志岐では従来あった海印寺を安国寺にあてた。開山は京都南禅寺の禅師無隠元暉(むいんげんかい)である。「師子窟(ししくつ)」の額が掛かる仏殿は、二重屋根の重厚な建築物。室町時代の貴重な宝物が多く、なかでも高麗版大般若経は国の重要文化財で、境内の一角にある宝物展示館で見ることができる。また、境内のスギの巨木が目玉をひく。

猿岩

SPOT 01

黒崎半島のさらに先端にある高さ45mの海蝕崖(かいしょくがい)の玄武岩。そっぽを向いた猿にそっくりで、気紛れな自然の造形に驚かされる。志岐島誕生の神話によると、「志岐の国は生き島である。神様が海の中でこの島をお産みになったとき、流されてしまわないようにと8本の柱を立てて繋いだ。その柱は折れ残り、今も岩となって折柱(おればしら)といわれている」とある。その8本の柱のひとつが猿岩である。

01



09

男嶽(おんだけ)神社の石猿群

SPOT 09

猿田彦命(さるとひこのみこと)が祭神。拜殿横の石段には200体を超す石猿が並んでいる。



10

筒城浜

SPOT 10

海岸線の全長およそ600mで志岐を代表する海水浴場。白砂青松の美しい浜は、日本古来の自然美を残した海岸風景で絶景である。



11

蛇ヶ谷(じゃがたに)

SPOT 11

勝本層の垂直節理が波によって浸食されて広がり、数10mの断崖になっている。辰ノ島海水浴場とは対照的に、男性的でダイナミックな風景である。



12

鬼の窟(いわや)古墳

SPOT 12

6世紀後半~7世紀前半頃の築造。直径45m、高さは13m。内部は大きな玄武岩を幾つも積み上げた横穴式。

SPOT 13 **住吉神社**
祭神は底筒男神(そこつつおのかみ)、中筒男神、表(うわ)筒男神、相殿に八千戈神(やちほこのかみ)で、明治4年、国幣中社に列格。

SPOT 14 **春一番の塔**
1859年(安政6)、春一番により地元の漁師53名が遭難した。昭和62年、郷ノ浦港入口の元居公園に、船の帆をイメージした「春一番の塔」が建てられた。

SPOT 15 **国分寺跡**
1738年に中野郷の阿弥陀堂と合し、「国分寺」と改名。現在は数個の礎石が残る空き地になっている。

SPOT 16 **金蔵寺(こんぞうじ)の銅造如来形坐像**
右手は親指と中指を捻じ、左手は親指と薬指を捻じるといふ特殊な印を結んでいる。像高73.4cmの高麗仏。渡来金銅仏の優品である。

SPOT
18

文永の役新城古戦場

千人塚の中央に元寇殉国忠魂塔が建ち、左脇には観音像、右脇に本来の千人塚の標石である自然石が2基ある。

SPOT
22

はらぼげ地蔵

六地蔵は六道(地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天)において衆生の苦患を救うという六種の地蔵である。海女(あま)で有名な八幡浦の海中に祀られている。

22



SPOT
19

元寇の礎石(いかりいし)

左京鼻沖で発見された。中国製の石を使っているが、日本軍の船の礎石ではないかともいわれている。いまは少貳(しょうじ)公園にある。花崗岩(かこうがん)製。

SPOT
23

月読(つくよみ)神社

京都の月読神社は、487年、吉野の梟首(あがたぬし)の先祖忍見宿禰(おしみのすくね)が吉野から分霊したもので、ここが神道の発祥の地とされる。

23



SPOT
20

吉野芦辺風力発電所

年間平均風速6m/s以上の風が吹く吉野は、風の島。島の北岸に大陸からの海風を利用した風力発電所がある。

SPOT
24

万葉公園

眼下には遣新羅使一行が入港した印通寺港や雪連宅満(ゆきのむらじやかまる)の墓地のある丘、弥生時代の環濠集落跡である原の辻遺跡などが見える。

24



SPOT
21

左京鼻

海鵜(うみう)のおびただしいフンに覆われているが、遠目には武骨な玄武岩が化粧を施したように美しい。

SPOT
25

湯ノ本温泉郷

吉野島北西岸、美しい島々に夕日が映える風光明媚な温泉郷。現在の泉源数17ヶ所、泉温は69℃、泉質はナトリウム塩化物温泉。

25

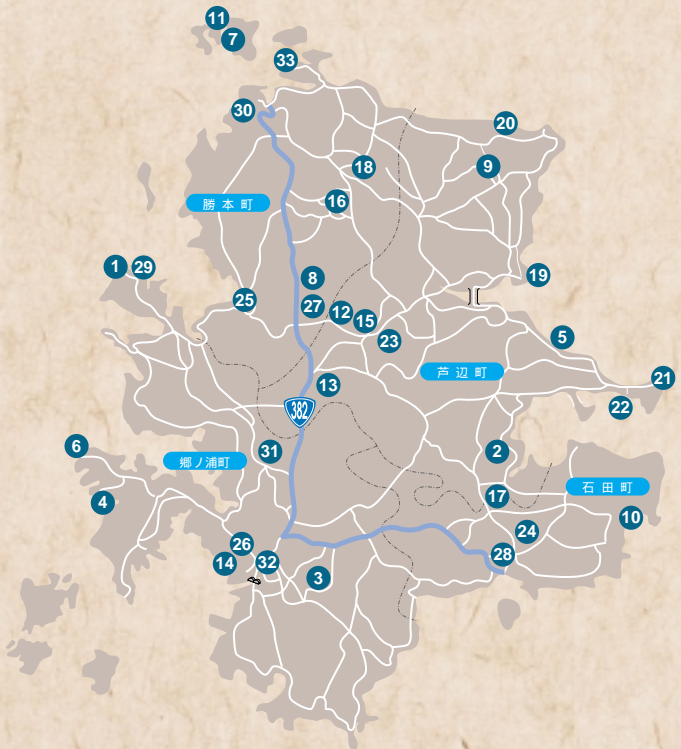


17

原の辻遺跡

SPOT
17

紀元前3世紀から紀元4世紀にかけて形成された大規模な多重環濠集落で、芦辺町と石田町にまたがる台地上を中心に、東西・南北ともに約1km四方に広がっている。平成7年、原の辻遺跡は『魏志倭人伝』の中の「一支国」の王都と特定された。発掘調査途中のため、古代史を書き換えるような発見が相次いでいる。平成12年に弥生時代のものとしては国内3ヶ所目の国特別史跡に指定。



26

ステゴドン象の化石

SPOT
26

昭和46年、流紋岩(りゅうもんがん)が露出した海岸でステゴドン象の化石が発掘された。化石は吉野郷土館に展示してある。



27

掛木古墳

SPOT
27

6世紀末～7世紀前半の築造。円墳で、墳丘の直径は約30m。県下で唯一の「くり抜き式家形石棺」を持つ古墳として有名。



28

松永記念館

SPOT
28

「日本の電気王」・「電力の鬼」と称された松永安左衛門の功績を伝えるために、生家跡に建設。生前愛用した所持品や文書などが展示されている。

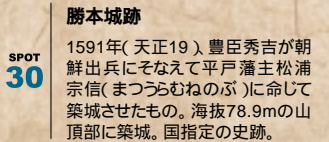


29

黒崎砲台跡

SPOT
29

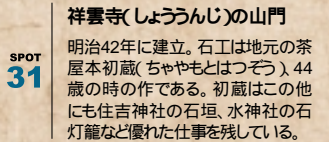
口径41cmのカノン砲2門の砲台で砲身の長さ18.83m、弾丸の重さ1t、最大射程距離約35km。一発も実弾を発射することがなかった。



SPOT
30

勝本城跡

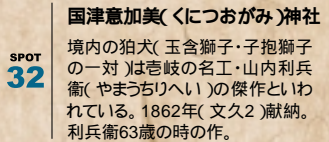
1591年(天正19)豊臣秀吉が朝鮮出兵にそなえて平戸藩主松浦宗信(まつらむねのぶ)に命じて築城させたもの。海拔78.9mの山頂部に築城。国指定の史跡。



SPOT
31

祥雲寺(しょううんじ)の山門

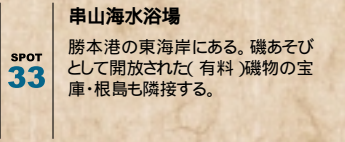
明治42年に建立。石工は地元の茶屋本初蔵(ちやもとつぞう)、44歳の時の作である。初蔵はこの他にも住吉神社の石垣、水神社の石灯籠など優れた仕事を残している。



SPOT
32

国津意加美(くにつおがみ)神社

境内の狛犬(玉含獅子・子抱獅子の一對)は吉野の名工・山内利兵衛(やまうちりへい)の傑作といわれている。1862年(文久2)献納。利兵衛63歳の時の作。



SPOT
33

串山海水浴場

勝本港の東海岸にある。磯あそびとして開放された(有料)磯物の宝庫・根島も隣接する。